

文献・図表のスライド引用の注意点

2025 年 6 月 25 日
一般社団法人日本集中治療医学会
著作権対策委員会

文献からの図表に引用は著作者の許可および出版社の許可が必要です。引用元の雑誌・成書の Permissions または Copyright を確認してください。journal により厳しいものもあります。

例えば、Journal of Intensive Care の場合は、著作権は著者が保持しています。また、以下の引用における注意点を厳守すれば第三者に引用を許可しております。

<https://jintensivecare.biomedcentral.com/submission-guidelines/copyright>

しかし、出版社によっては引用を許可していない場合もあり、確認のうえ図表の引用使用をお願いします。

出版社が第三者に引用を許可している場合は、以下の点に注意して引用してください。

※講演スライドの引用における注意点を示します。

1. 自分の制作物が「主」であり、引用された著作物は「従」であること
2. 引用すべき必然性があること（通常は OK です）
3. 引用部分とその他の部分が明確に区分されていること
4. 引用は必要最低限であること
5. 引用部分は改変、翻訳していないこと
6. 出典を明記すること（URL の場合は確認した日時を記載してください）

スライド上で主従関係のわからない、引用物だけのスライドは許可されていません。また主従関係においても講演の場合はその引用物の説明を加えて話すため、簡単な説明で良い場合がありますが、配布資料の場合は引用図表に日本語のタイトル行を加えるだけ等だけでは主従関係の説明が不十分になります。

【重要注意事項】

1. 配布資料には図表を引用せず、引用文献名（タイトル、著者、出版先）や URL 等を掲示してください。
2. 受講者が非登録制でだれでも受講できる講演の場合は、スライド内に図表を引用せず、引用文献名（タイトル、著者、出版先）や URL 等を掲示して、図表の内容を言葉で説明してください。

以上